

眼科

1. 概要

白内障手術においては、+1.5D加入眼内レンズを新たに導入し、トーリック眼内レンズ（乱視矯正用眼内レンズ）の使用も増加した。多焦点眼内レンズについては先進医療施設認定を目指して適応拡大予定である。また、日帰り入院白内障手術が新たに開始となった。病棟、入院支援センター、外来等相互協力によりさらなる入院期間の短縮を図る予定である。

緑内障手術についてはMIGSの適応が拡大し、マイクロフックを用いたトラベクトミーを新たに導入した。硝子体手術とともに、低侵襲手術化がすすんだ。

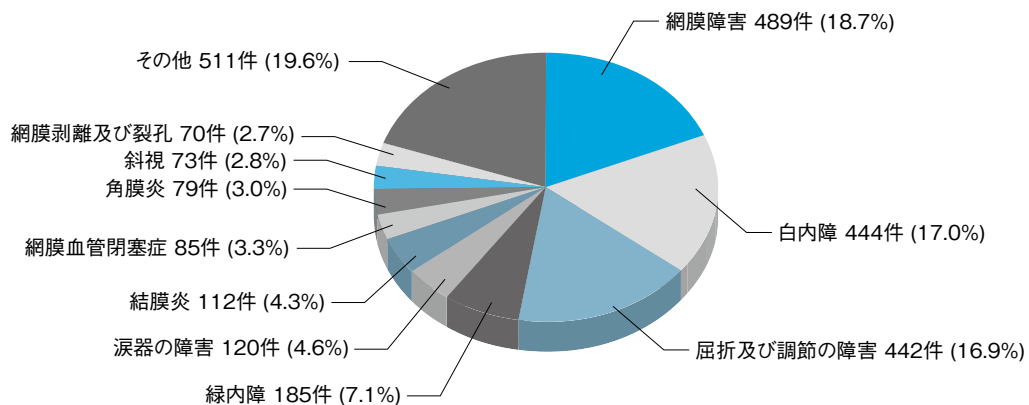
手術室において看護師・臨床工学士と協力して業務の効率化を検討中である。

眼科外来においては、今後、新しいレーザー装置の導入により、従来の網膜光凝固に加え、パターンレーザー・閾値下レーザーも施行可能となる見込みである。

（部長 佐川 宏恵）

2. 新規登録疾患

総数：2,610件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
網膜障害	詳細不明の糖尿病, 眼合併症を伴うもの	219	E143
	黄斑及び後極の変性	142	H353
白内障	乳児, 若年及び初老期白内障	249	H260
	老人性白内障, 詳細不明	84	H259
屈折及び調節の障害	乱視	436	H522
緑内障	緑内障, 詳細不明	126	H409
	緑内障の疑い	21	H400
涙器の障害	涙腺のその他の障害	104	H041
結膜炎	結膜炎, 詳細不明	72	H109
	急性アトピー性結膜炎	36	H101
網膜血管閉塞症	その他の網膜血管閉塞症	77	H348
角膜炎	角膜炎, 詳細不明	29	H169
	角膜潰瘍	20	H160
斜視	間欠性斜視	24	H503
	共同性内斜視	18	H500
網膜剥離及び裂孔	網膜剥離, 網膜裂孔を伴うもの	33	H330
	網膜裂孔, 剥離を伴わないもの	20	H333

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	22,842人	年間外来新患者数	2,089人
年間入院患者数	4,438人	年間入院新患者数	880人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	件数(件)	疾患名	件数(件)
白内障	587	硝子体黄斑牽引症候群	3
黄斑前膜	72	外傷・眼球破裂	2
緑内障	50	眼窩蜂窩織炎	2
網膜剥離	48	眼内異物	2
硝子体出血・混濁	29	眼内炎	2
糖尿病網膜症	23	眼内レンズ脱臼	2
視神経症	16	無水晶体眼	2
黄斑円孔	11	眼瞼腫瘤	1
増殖硝子体網膜症	9	内反症	1
網膜下出血	7	網膜中心動脈閉塞症	1
斜視	4	計	878
角膜穿孔	4		

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	526
網膜光凝固術(PHC)	244
レーザー後発白内障切開術(YAG)	126
レーザー虹彩切開術(LI)	48
涙点プラグ挿入	14
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	4
睫毛電気分解	3
霰粒腫摘出術	2
計	967

②外来特殊検査件数

術式	件数(件)
光干渉断層撮影(OCT)	9,489
動的量の視野検査	779
静的量の視野検査	653
蛍光眼底撮影	483
眼鏡処方	247
計	11,651

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	734
硝子体茎顕微鏡下離断術	185
流出路再建術	32
翼状片手術	23
濾過胞再建術	18
縫着レンズ挿入	12
斜視手術	11
増殖性硝子体網膜症手術	11
霰粒腫摘出術	8
硝子体注入・吸引術	7
眼瞼下垂症手術	7
網膜復位術	6
内反症手術	5
結膜縫合術	4
前房、虹彩内異物除去術	4
硝子体切除術	3
角膜・強膜縫合術	2
虹彩整復・瞳孔形成術	2
角膜・強膜異物除去術	1
外反症手術	1
眼窩内腫瘍摘出術	1
眼瞼腫瘍切除術	1
結膜肉芽腫摘除術	1
結膜嚢形成手術	1
網膜冷凍凝固術	1
計	1,081

学会発表（医局）

<眼科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	学術展示(ポスター) 白内障	筆頭演者	水野 友広	第41回日本眼科手術 学会学術総会	京都市	2018/1/27	